

サッカーで3つの「こころ」を育む



△コーチ陣と参加者で記念撮影
△仲間と心をつなぐグラウンドを駆け回る子どもたちと講話で講師を務めた酒井コーチ（円内）



9月1日、浦和レッズハートフルクラブによるハートフルサッカーinくずまき2024が総合運動公園多目的グラウンドで開催され、町内外の保育園児から中学生まで51人が参加しました。

この日は、5人の浦和レッズハートフルクラブコーチが講師を務め、講話と実技が行われました。最初の講話では元サッカー日本代表の酒井友之コーチが「一生懸命やる・楽しむ・思いやるの3つのことを大切に、何事にも全力で取り組んでほしい」とハートフルクラブで大事にしていることを力強く伝えました。

その後グラウンドで行われた実技では、2つのグループに分かれてコーチ陣の指導のもと各種体験で体を動かしました。体験では、サッカーを楽しくプレーするとともに、同じチームの仲間を応援したり、プレー中も声を掛け合ったり、仲間を思いやる心を体感しました。

参加者からは「多くの仲間とサッカーができて楽しかった」「プロの指導を受けて貴重な経験となった」などの感想があり、サッカーの技術のほかにスポーツで「こころ」を育む大切さを学んだ様子でした。



①ゴールを狙ってシュートする様子
②コーチと一緒に白熱したプレー
③イベント終了後にコーチとハイタッチを交わす子どもたち

くずまき花 Beer~2024~ リベンジ!!

9月14日、葛巻小学校校庭で町商工会青年部主催のくずまき花 Beer~2024~ リベンジ!! が開催され、約 1,500 人が来場しました。

7月28日に開催予定だった本イベントは天候不良などの理由で一時は中止になっていましたが、日を改めて開催が実現しました。

開会前に行われた葛巻保育園と五日市保育園の園児によるステージ発表では、浴衣や甚平に身を包んだ園児たちが元気いっぱい踊りを披露し、集まった来場者からも笑みがこぼれていました。

開会セレモニーでは商工会青年部の下柳徹部長が「中止の決断をしたときは出店者や皆さんにもご迷惑をおかけしましたが、支援や協力があって今日を迎えることができました。今日は楽しんでください」と感謝とイベントへの思いを話しました。

開会后、会場は親子連れや仲間同士で訪れる人の姿が多く見られ、走り回る子どもやビールを酌み交わす人の活気で溢れていました。ステージでは草名バンドのライブも行われ、会場を大いに盛り上げました。メインイベントの花火が始まると、集まった来場者らは頭上を見上げ、打ち上がる花火に歓声を上げていました。



元気に踊りを披露した園児たち



仲間たちと笑顔で乾杯



ビールを提供する商工会青年部